

千葉県がリードするブルーカーボンとヨウ素製造のリンクプロジェクト

【申請者】

代表者：国立大学法人千葉大学

連携体：(株)銚子漁業共生センター、(株)小林海苔店、(株)キミカ

【実証フィールド】

銚子市・鴨川市

千葉市・富津

【プロジェクトの概要】

ヨウ素の需要が急伸していることを受け、千葉の重要な資源であるヨウ素の生産量を純増させるため、海藻からのヨウ素生産技術を実証するとともに、海藻養殖業の振興を目指す。



【効果】

海藻養殖は、千葉県近海の磯焼けを防止し、漁業協同組合や海藻加工業者等に産業振興をもたらすほか、海藻から取り出したヨウ素を県内企業の生産ラインに導入することにより、医薬品や次世代太陽電池等の開発に不可欠なヨウ素資源の持続的な増産システムを構築する。

【問い合わせ先】 <法人名：千葉大学> <担当者名：荒井> <連絡先：043-290-2889>

【令和7年度「ちば地域産業創出実証プロジェクト補助金」採択事業】

『財獣』から『地域産業』へ：千葉県型イノベーションで県全域を繋ぐ野生獣原皮サプライチェーン構築による地域新産業創出実証

【申請者】

代表者：1008株式会社
連携体：合同会社DIEM、クリスタルライフ株式会社
幕張PLAY株式会社

【実証フィールド】

木更津市・一宮町・
君津市・館山市

【プロジェクトの概要】

食肉加工施設に獣皮の専用冷凍庫の設置を行うことで、原皮の品質を保全しながら供給量を増加できる収集システム及びサプライチェーンの構築を実証する。



原皮保管専用冷凍庫の配備



【効果】

革製品の素材となる原皮の供給量増に直結する取組みであり、地域サプライヤーを増やして獣資源の活用を促進することによって、皮革関連産業（製造業や原材料運搬業）等の雇用創出が期待される。



【問い合わせ先】 <法人名：幕張PLAY株式会社> <担当者名：石井> <連絡先：090-2425-4923>

【令和7年度「ちば地域産業創出実証プロジェクト補助金」採択事業】

放置竹林駆け込み寺アソシエーション

【申請者】

代表者：株式会社カワイチ・テック

連携体：(株)トヨ産業、ファームポート千葉(合)、(株)ARCLEAD INTERNATIONAL、
(株)国際通商、(株)スミク、(株)ちかけんプロダクツ、(公財)千葉県産業振興センター

【実証フィールド】

千葉市・八街市・柏市・成田市・印西市・東金市・船橋市

【プロジェクトの概要】

県内の放置竹林解消に向け、竹材伐採から竹チップ化・竹炭パウダー化及びそれらを活用した製品開発までの一気通貫生産体制の構築を実証する。



【効果】

県内の地域課題となっている放置竹林の解決にも寄与し、採取した竹材から生成する竹炭パウダーや竹チップ等を新たな素材として利用することが可能となることから、新たなビジネスモデルの構築が期待できる。



【問い合わせ先】 <法人名：(株)カワイチ・テック> <担当者名：川口 >
<連絡先：info@kawaichi.co.jp, 0476-37-1471>

企業と地域の循環 ～Be a prosumerプロジェクト～

【申請者】

代表者：株式会社くるくるやっほー

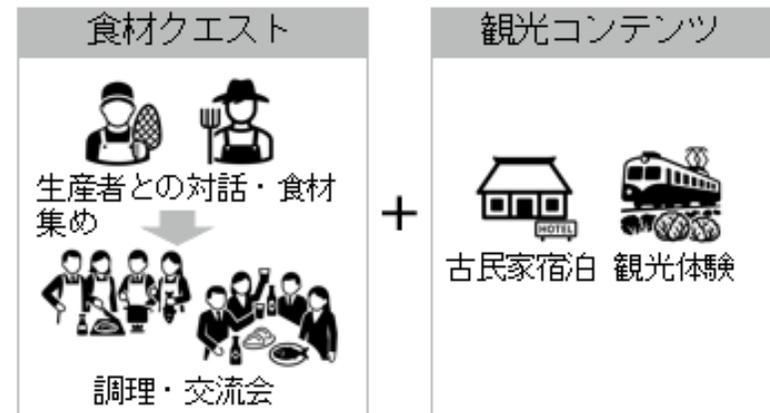
連携体：チョウシ・チアーズ株式会社

【実証フィールド】

銚子市

【プロジェクトの概要】

銚子市の基幹産業である農業・漁業などの一次産業を活用し、「生産者としての経験」を提供する体験型コンテンツの開発し、モニターツアーを行うことでその集客効果を実証する。



【効果】

新たな観光体験のパッケージとして実装される見込みがあり、地元の雇用増や宿泊・飲食・交通など周辺地場産業の振興により、持続可能性の高い地域活性モデルの構築が期待できる。



【令和7年度「ちば地域産業創出実証プロジェクト補助金」採択事業】

『健康促進コミュニティ』創出で健康寿命を延伸し生涯現役社会を実現

【申請者】

代表者：国立大学法人千葉大学

連携体：(株)アイ・メデックス、社会福祉法人泉寿会、千葉市

【実証フィールド】

千葉市

【プロジェクトの概要】

高齢者のロコトレの前後における筋量・筋質変化をリアルタイムで確認できる『筋量・筋質イメージング・ウェア』のプロトタイプを用いて、高齢者の自己効力感の変化について実証する。



【効果】

自身の健康に親しむ交流の場である『健康促進コミュニティ』を創出することにより、高齢者の健康寿命が延伸して外出が増えることで消費が増加し、千葉県内の飲食業・観光業の活性化が見込まれる。



【問い合わせ先】 <法人名：国立大学法人 千葉大学> <担当者名：武居> <連絡先：masa2@chiba-u.jp>

【令和7年度「ちば地域産業創出実証プロジェクト補助金」採択事業】

県南エリアにエビ陸上養殖家を多数輩出するための就労支援プロジェクト

【申請者】

代表者：社会福祉法人太陽会

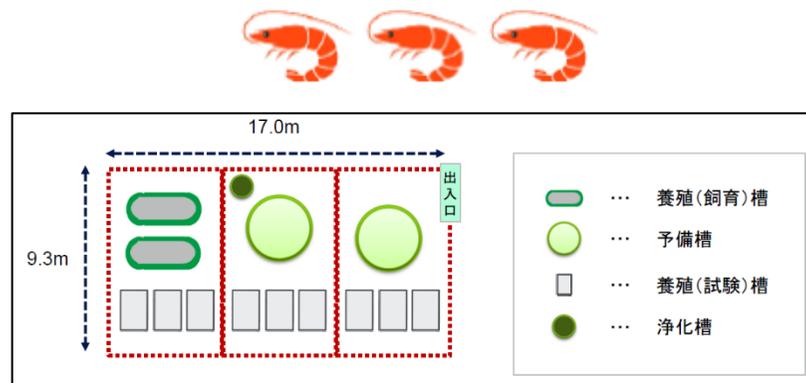
連携体：株式会社Seaside

【実証フィールド】

南房総市

【プロジェクトの概要】

南房総エリアにおいて、エビの陸上養殖事業者を多数育成するため、廃校となっていた学校のプールを活用したエビ陸上養殖の実践を学べる就労支援（教育施設）を開始するための実証を行う。



【効果】

エビ陸上養殖の教育施設として地元の学生等を受け入れることで開業誘致が促進され、県南エリアがエビの一大生産地となる可能性があり、エビ養殖の関連事業者（漁協、小売店、冷凍販売）への波及が見込める。



【問い合わせ先】 <法人名：社会福祉法人太陽会> <担当者名：須賀> <連絡先：04-7098-3710 >